

ダーモスコピー (dermoscopy) とは

皮膚組織表層における光の乱反射をエコーゼリー塗布や偏光装置で低減させて白色光 (LED) を照射し、10倍程度に拡大して皮膚病変を観察する検査法である。これを用いると、肉眼的には認識できない新規の形態所見を明瞭に観察することができる。とくにメラノーマや基底細胞癌などの色素性病変の診断精度が飛躍的に向上する。

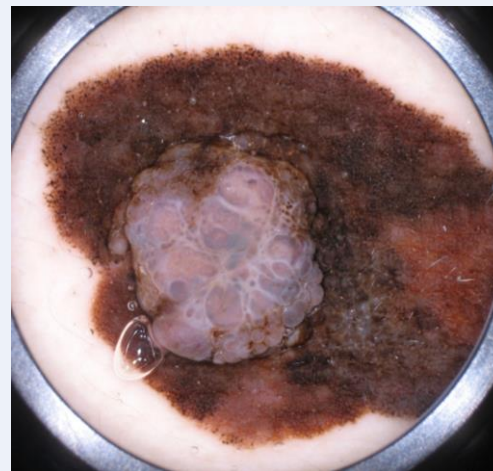
手軽に実施できる非侵襲的検査法で、保険診療にも採用されており、皮膚科診療の現場で広く用いられている。ダーモスコピー用の各種機器 (ダーモスコープ) が国内外のメーカーから販売されている。

メラノーマの肉眼所見とダーモスコピー所見の比較



肉眼所見

通常臨床画像を右図のダーモスコピー画像と同程度に拡大したもの。左下挿入図は、本病変のほぼ実際のサイズの臨床像。



ダーモスコピー所見

表面にエコーゼリーを塗布し、白色光を照射してえられた10倍の拡大像。種々の形態所見が鮮明に観察される。

出典：斎田俊明ほか. 南江堂. ダーモスコピーのすべて. 2021. p3.
作成：斎田 俊明氏 (信州大学 名誉教授)